



両翼95mの坂田池公園野球場

昭和キャボット跡地では、  
①航路直下から外れること。  
②静かで環境がよい。③中  
学・高校の文教ゾーン構想、

などが選んだ理由となりました。  
また、「現在の中学校敷地に」という意見も寄せられました。①少子化が進むなかで、果たして移転が必要なものか、疑問視する意見。②改めて土地を購入する必要がなく、現在の場所ですべき。③校歌を始めとする伝統を引き継ぐためにも現在の場所です、といった意見です。  
このほか、少数ではありますが、現在の校舎で十分

アンケート結果について、詳しいことは次ページをご覧ください。



建設後43年が経過した横芝中学校

であり、学校建設の必要はない、との意見もありました。

この意見についての集中審議をしました。  
**飛行直下に慎重な意見**

- ① 将来は便数も増え、ジャンボ機も飛ぶ。飛行直下は落下物等安全面で疑問がある。
- ② 航空機が真上を飛ぶなど、建設候補地として決めた時期と条件が変化している。再考すべきである。
- ③ 飛行直下の学校を移転している町もある。横芝中建設で、なぜ飛行直下を選ぶのか。今なら間に合う。
- ④ スポーツ施設の有効利用など、坂田池公園近くを再検討すべき。環境もよく、学校建設に適している。

**学校給食センター北側で建設を進める意見**

- ① 慎重に議論した結果であり、変更は困難である。
- ② 地権者の協力もあり、再検討による事業の遅れは、開校の遅れにもつながる。
- ③ 洋上での脚出しを徹底することにより、航空機からの落下物も激減している。
- ④ 坂田池公園のスポーツ施設は一般用であり、学校用としては学校敷地内に専用の施設・設備が必要である。
- ⑤ 県や国との打ち合わせも進んでおり、場所の変更は、すべてがふりだしに戻ってしまう。  
などの意見があり、「横芝中学校建設推進委員会」として、意見統一が困難な状況となりました。そこで、すでに決定した建設場所について町民の意見をお聞きするために、異例の措置としてアンケート調査を実施しました。